

まがりやちいせき たきたしよざい ひえぬきがわさがん かがん
曲谷地遺跡は、花巻市石鳥谷町滝田に所在し、稗貫川左岸の河岸
だんきゆう りっち なんりゆう
段丘上に立地します。南流する稗貫川が大きく西方へ流れを変える

ひかくてきへいたん けいせい
付近で、この一帯には比較的平坦な河岸段丘面が形成されており、
ならへいあん
縄文時代や奈良・平安時代の遺跡が数多く立地しています。本遺跡

すいでん のうち
周辺は、リンゴ畑や水田といった農地が広がっており、場所によつ
はたち ちひょう
ては畑地で今でも地表に多くの土器や石器を見ることができます。

平成23年には当時、水田となっていた場所に個人住宅の建設が計
かいでん
画されました。当初は開田により遺跡は残っていないと思われてい

しゅくつ たりょう はくくつ
ましたが、試掘の結果、多量の縄文土器が出土したために発掘調査
たてあなたてものもと
を行っています。調査では竪穴建物跡等は確認できませんでしたが、

ちゅうき まいせつどきいこう きしやうど
縄文時代中期(約5,000～4,000年前)の埋設土器遺構1基、焼土
どこう きんせい ちゅうけつぐん けんしゅつ
遺構1基、土坑2基、近世と考えられる柱穴群48基などが検出さ

ふかばちがたどき
れました。出土した縄文土器は、中期中頃の深鉢形土器が中心で、
しゅうらく す
出土状態からみて、ここは集落の土器捨て場であった可能性があり

ます。おそらく、集
しゅたい
落の主体は、もう少し北側の川に近い場
所にあったものと考えられます。



遺物出土状況(2001年調査)